



**2016年3月期**

**決算説明資料**

**2016年5月25日**

**太平電業株式会社**

## I 会社概要説明 – 代表取締役社長 野尻 穰

1. 会社概要
2. 事業セグメントの概要
3. 事業展開（ネットワーク）
4. 今後の展望

## II 決算概要説明 – 取締役常務執行役員 光富 勉

5. 2016年3月期決算実績
6. 2017年3月期決算予想

# I 会社概要説明



1. 会社概要
2. 事業セグメントの概要
3. 事業展開（ネットワーク）
4. 今後の展望



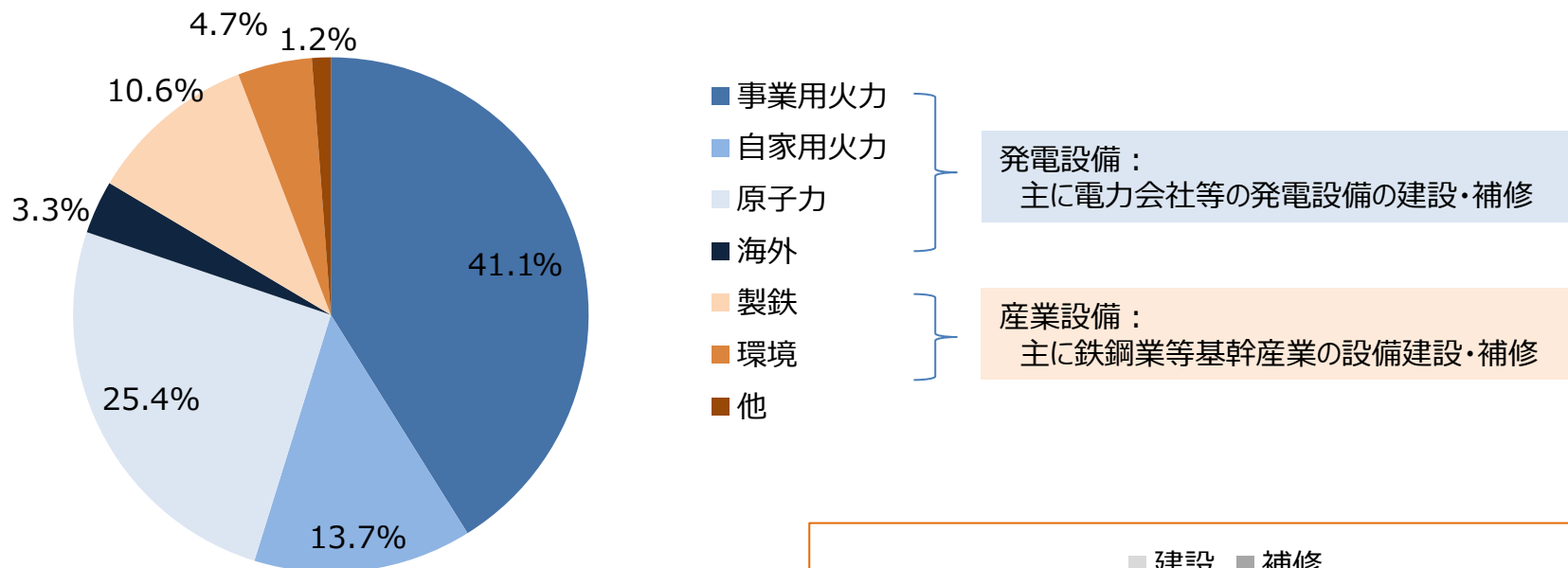
# 1. 会社概要



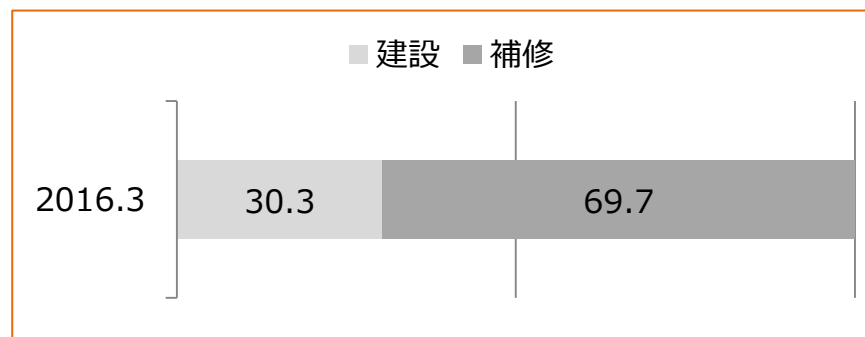
商号	太平電業株式会社
設立	1947年（昭和22年）3月25日
上場	東証1部【証券コード 1968】：1972年11月
資本金	40億80万円
代表者	野尻 穰
売上高	連結：823.06億円 単体：800.48億円（2016年3月期）
従業員数	連結：1,723名 単体：1,535名（2016年3月期）
事業内容 （業種別）	<p><b>発電設備部門</b>：火力発電、原子力発電、ガスタービン発電、ディーゼル発電、地熱発電、複合発電、風力発電所等の建設および補修工事</p> <p><b>基幹産業部門</b>：製鉄、石油化学、精糖、セメントなどの各種プラント設計、製作、建設および補修工事</p> <p><b>環境装置部門</b>：ゴミ焼却、ダイオキシン対策、汚泥処理、リサイクルプラントの建設および補修工事</p> <p><b>電気計装部門</b>：各種電気設備、変電所、制御、光通信設備、計装装置の設計、製作、据付、ビル電気設備および補修工事</p> <p><b>土木建築部門</b>：各種プラント関連設備の土木建築の設計・施工、空調および衛生設備の設計・施工</p> <p><b>製作部門</b>：各種機械加工製品、各種製缶製品、各種配管プレハブ、第二種圧力容器、電気・計装盤</p>

## 2. 事業セグメントの概要

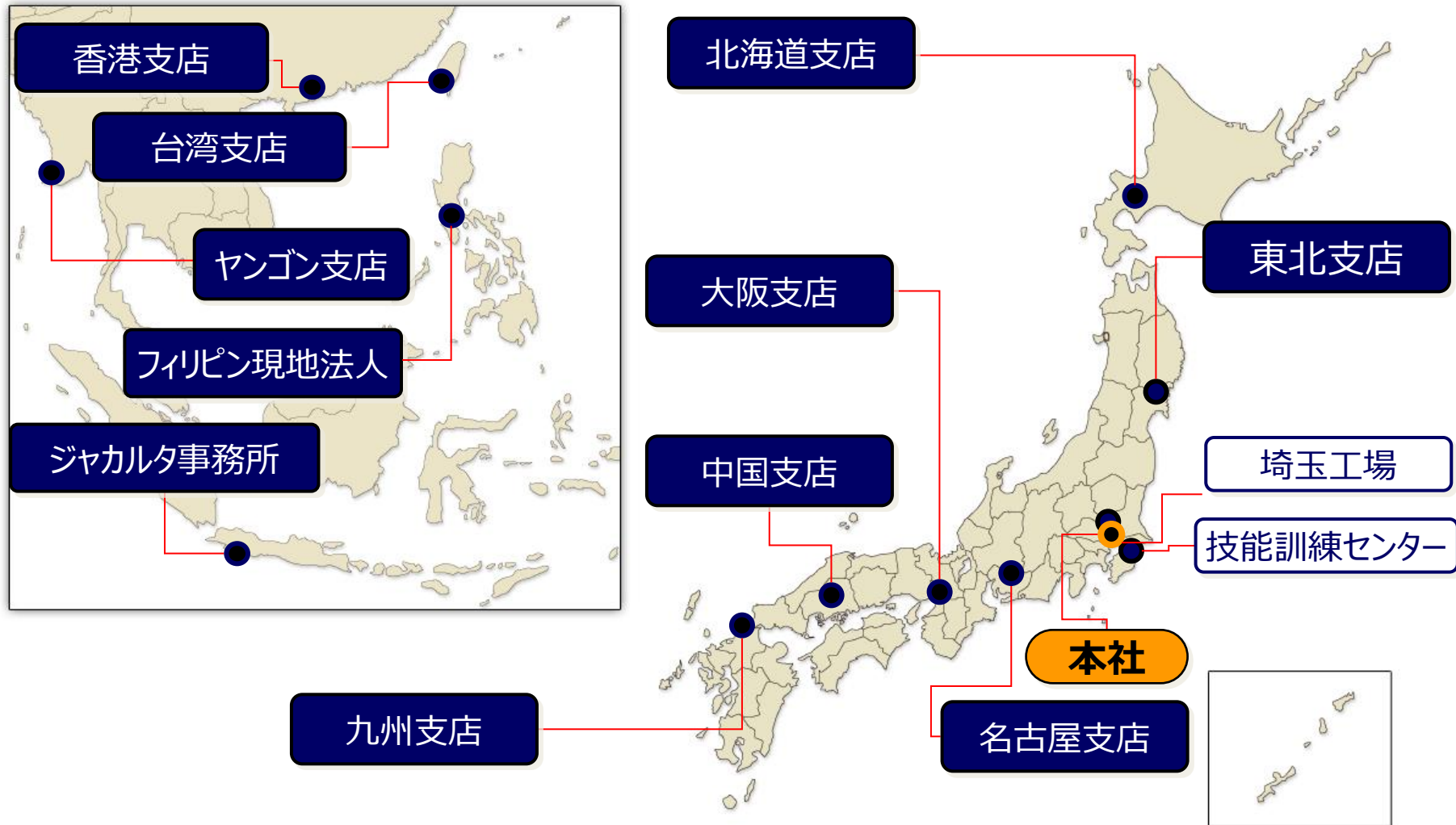
セグメント別売上高構成（2016年3月期：個別）



- ・発電プラント等の設備建設・補修が主力
- ・補修工事の割合が約7割



# 3. 事業展開（ネットワーク）

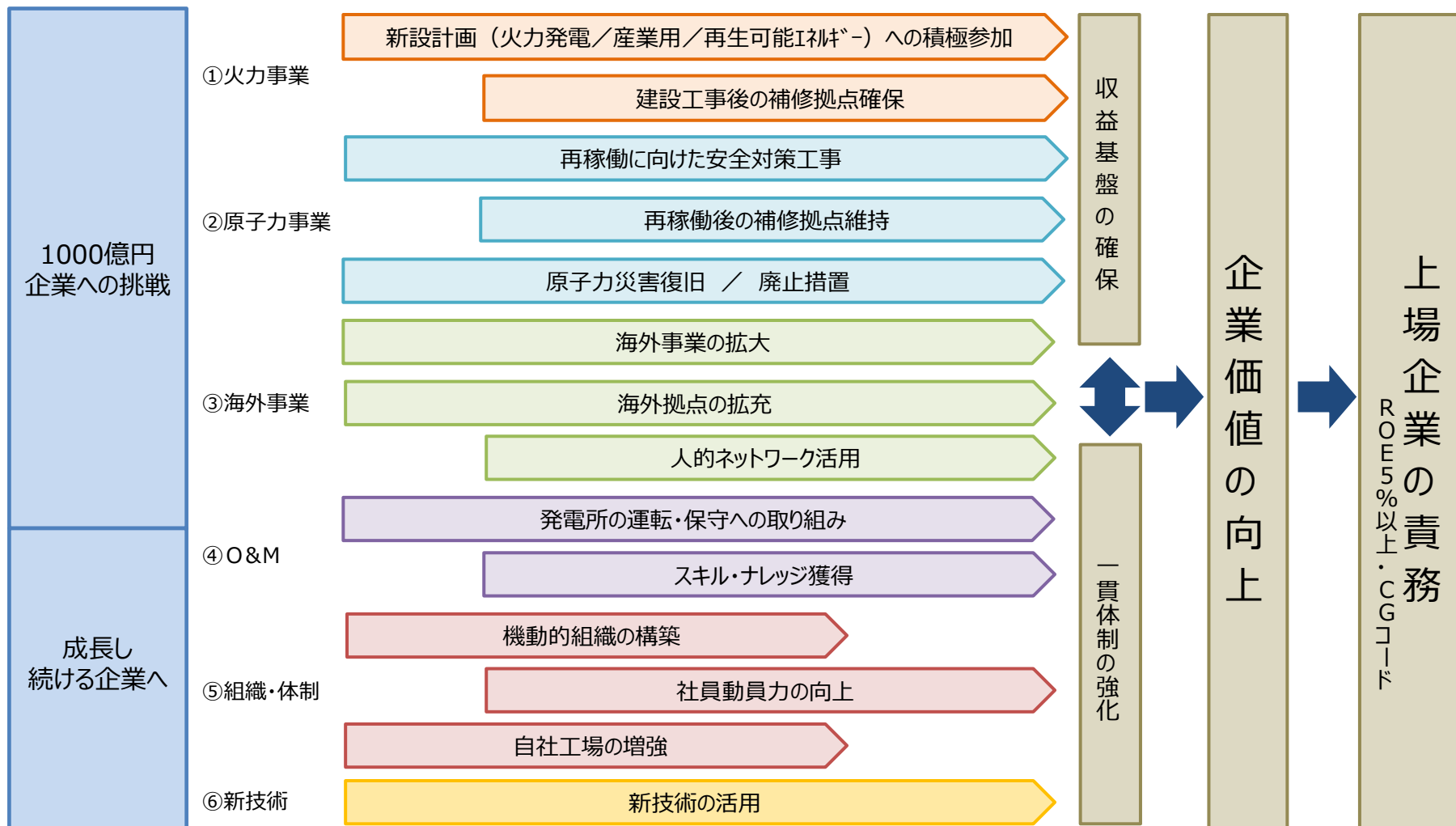


# 4. 今後の展望

## どんな時代にも流されない強い会社



### 3. 2017年度以降の取り組み



1000億円  
企業への挑戦

成長し  
続ける企業へ

# 目次

- 5. 2016年3月期 決算概況
- 6. 2017年3月期 決算予想



# 2016年3月期決算実績 サマリー（連結）

（単位：百万円）

	2015年 3月期	2016年 3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減比
売上高	77,441	82,306	+4,865	6.3%
営業利益	4,610	5,127	+517	11.2%
経常利益	5,011	5,305	+294	5.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,963	3,361	+398	13.4%

		2015. 3. 31	2016. 3. 31	前年同期比
実績 レート	ドル (¥/\$)	120.17	112.68	↘ -7.49
	香港ドル (¥/H.K.\$)	15.50	14.53	↘ -0.97

# 2016年3月期決算実績 サマリー（個別）

（単位：百万円）

	2015年 3月期	2016年 3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減比
売上高	75,396	80,048	+4,652	6.2%
営業利益	4,157	5,112	+955	23.0%
経常利益	4,501	5,196	+695	15.5%
当期純利益	2,628	3,441	+813	30.9%

		2015. 3. 31	2016. 3. 31	前年同期比
実績 レート	ドル (¥/\$)	120.17	112.68	↘ -7.49
	香港ドル (¥/H. K. \$)	15.50	14.53	↘ -0.97

# 2016年3月期

## 決算実績セグメント別サマリー（個別）

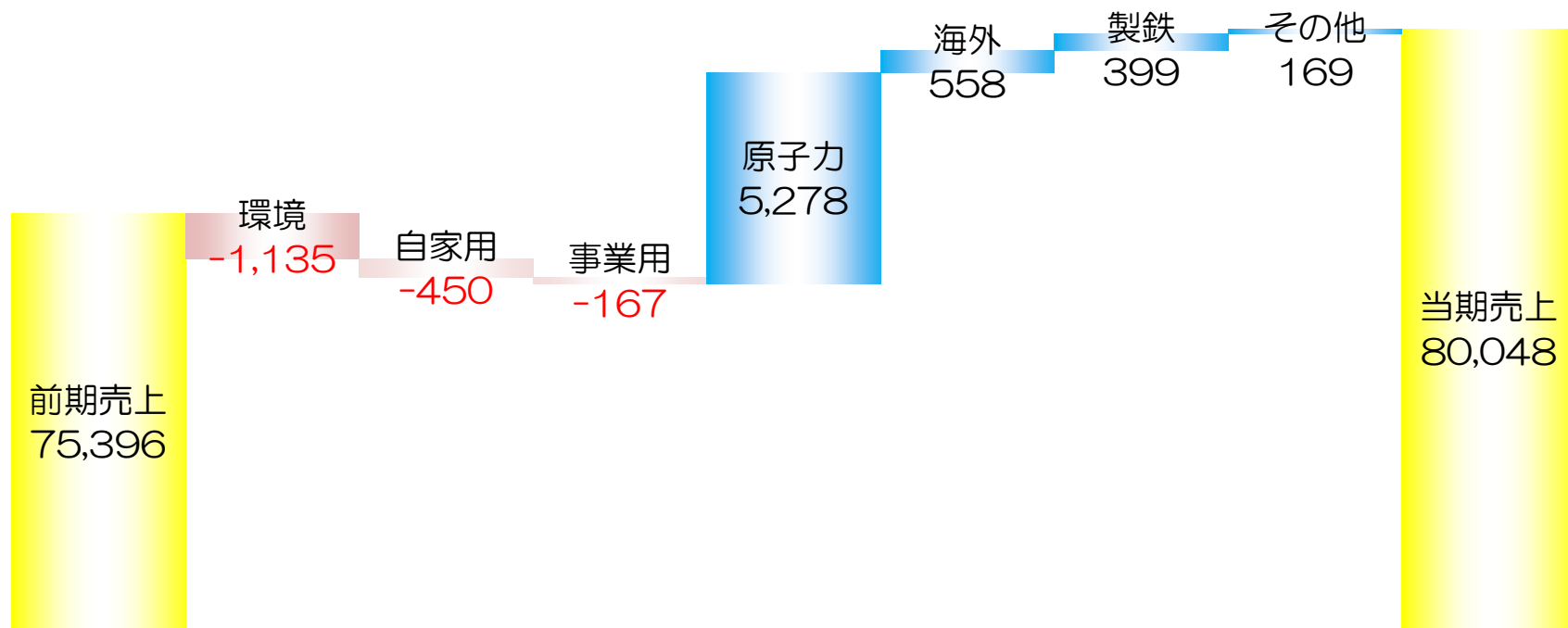
（単位：百万円）

		2015年3月期		2016年3月期		前期比	
		売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
発電設備	事業用	33,071	1,404	32,904	9	-167	-1,395
	自家用	11,409	16	10,959	568	-450	552
	原子力	15,061	1,965	20,339	3,174	5,278	1,210
	海外	2,120	-212	2,678	29	558	241
産業設備	製鉄	8,093	435	8,492	630	399	195
	環境	4,866	517	3,731	660	-1,135	143
その他		775	33	945	42	169	9
合計		75,396	4,157	80,048	5,112	4,652	955

# 売上高 増減分析(個別)

・発電設備区分は全体比で83.6%となり、ほぼ前年と同様の比率となった。原子力は再稼働に向けての安全対策工事が増加。また、環境は前期あった大型件名がなく、減少した。

(単位：百万円)

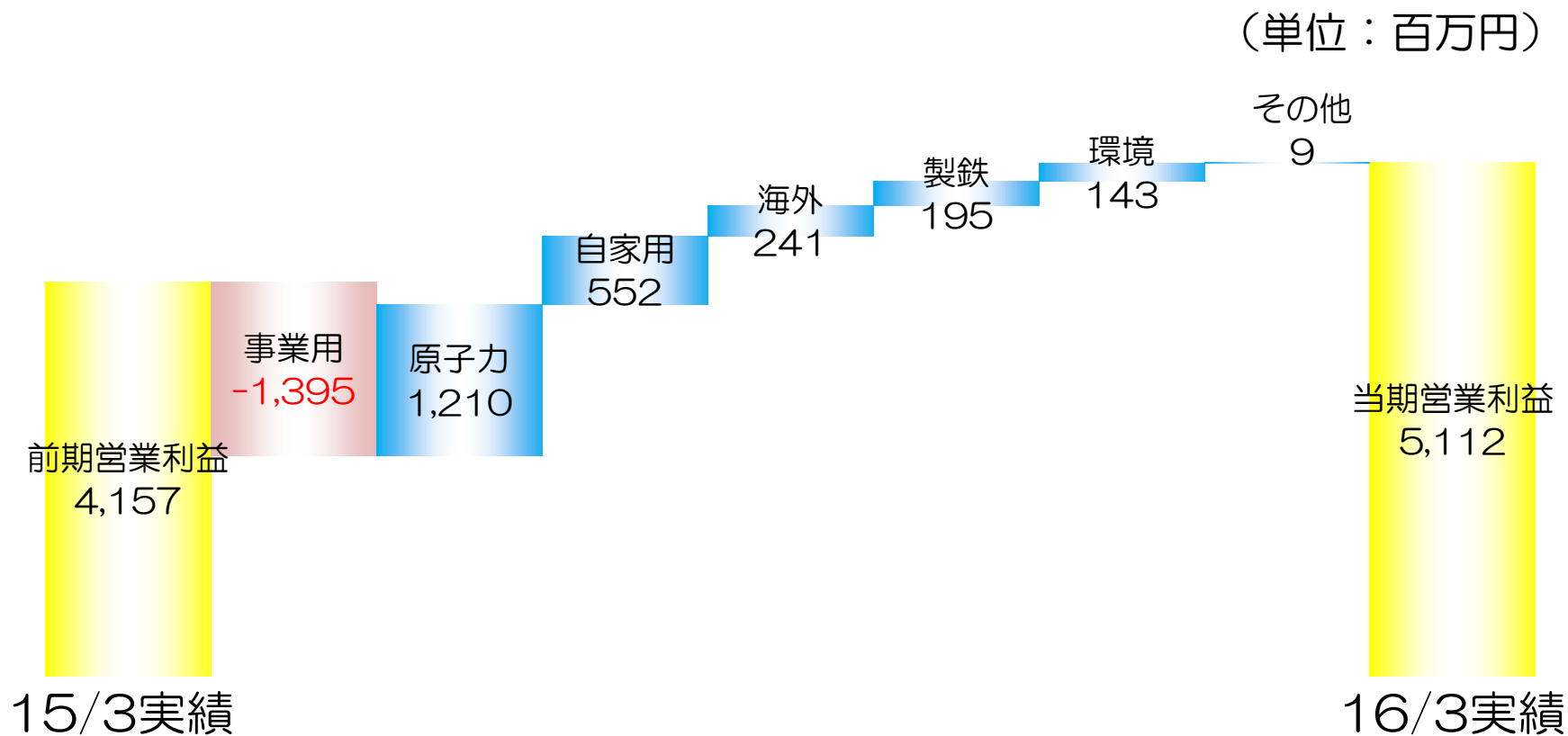


15/3実績

16/3実績

# 営業利益 増減分析(個別)

- ・売上と同様に発電設備が全体比の73.9%となり、特に原子力の安全対策工事が大きく寄与した。
- ・事業用は収支が厳しい件名が多く、前年比で大きく減少。原子力は前年と同様、再稼働に向けた安全対策工事が増加。自家用は収支率が良化したため増加した。



# 貸借対照表(個別)

(単位：百万円)

	2014年度 4Q末	2015年度 4Q末	増減		2014年度 4Q末	2015年度 4Q末	増減
<b>流動資産</b>	57,492	55,925	△ 1,567	<b>負債</b>	27,288	24,110	△ 3,178
現金預金	10,408	15,387	4,979	流動負債	23,700	20,926	△ 2,774
受取手形及び 完成工事未収入金	35,361	31,330	△ 4,031	固定負債	3,588	3,183	△ 405
未成工事支出金	9,302	7,578	△ 1,724	<b>純資産</b>	54,258	56,414	2,156
その他	2,421	1,630	△ 791	株主資本	51,931	54,694	2,763
<b>固定資産</b>	24,054	24,598	544	資本金	4,000	4,000	0
有形固定資産	11,583	11,849	266	資本剰余金	4,799	4,799	0
投資その他資産	12,332	12,601	269	利益剰余金	44,958	47,621	2,663
その他資産	139	148	9	自己株式	△ 1,826	△ 1,726	100
				その他有価証券評価差額	2,327	1,719	△ 608
<b>資産計</b>	81,547	80,524	△ 1,023	<b>負債・純資産計</b>	81,547	80,524	△ 1,023

# 2017年3月期 業績見込（連結）

（単位：百万円）

	2016年 3月期	2017年 3月期	前期比	
	実績	見込	増減額	増減比
受注高	78,022	112,159	+34,137	43.8%
売上高	82,306	83,500	+1,194	1.5%
営業利益	5,127	5,400	+273	5.3%
経常利益	5,305	5,600	+295	5.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,361	4,000	+639	19.0%

# 2017年3月期 業績見込（個別）

（単位：百万円）

	2016年 3月期	2017年 3月期	前期比	
	実績	見込	増減額	増減比
受注高	75,673	110,000	+34,327	45.4%
売上高	80,048	81,300	+1,252	1.6%
営業利益	5,112	5,090	-22	-0.4%
経常利益	5,196	5,300	+104	2.0%
当期純利益	3,441	3,800	+359	10.4%



# 2017年3月期

## 決算見込セグメント別サマリー（個別）

（単位：百万円）

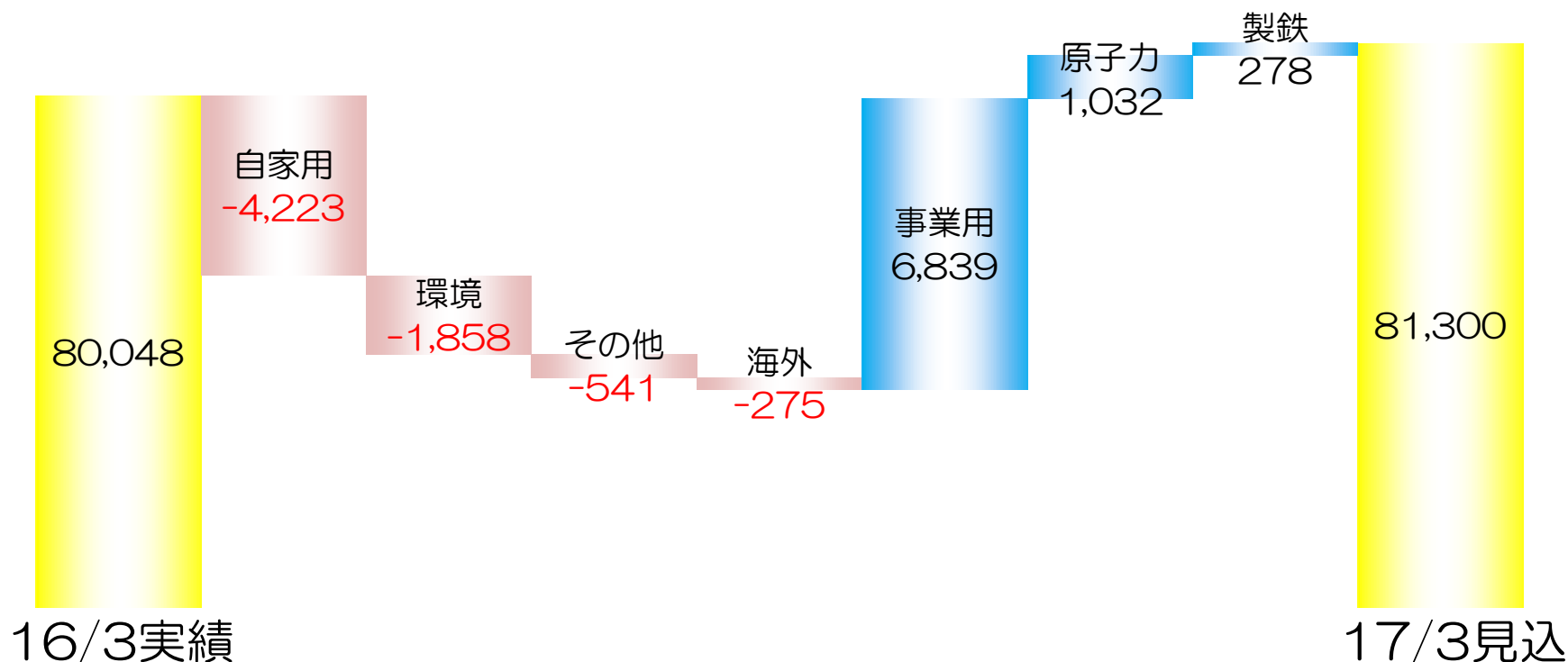
		2016年3月期		2017年3月期(見込)		前期比	
		売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
発電設備	事業用	32,904	9	39,743	1,336	6,839	1,327
	自家用	10,959	568	6,736	677	-4,223	109
	原子力	20,339	3,174	21,371	2,044	1,032	-1,130
	海外	2,678	29	2,403	36	-275	7
産業設備	製鉄	8,492	630	8,770	736	278	106
	環境	3,731	660	1,873	242	-1,858	-418
その他		945	42	404	19	-541	-23
合計		80,048	5,112	81,300	5,090	1,252	-22

# 2017年3月期

## 業績見込 売上高増減分析（個別）

・発電設備区分は全体の86.4%となり、前年度よりやや増加を見込む。中でも事業用は複数の大型件名が着工し、比率は約50%を占める。原子力も引き続き安全対策工事を見込む。一方、自家用は前年度から大きく減少する見込。

（単位：百万円）



# 株主還元の方針

## 株主還元の基本方針

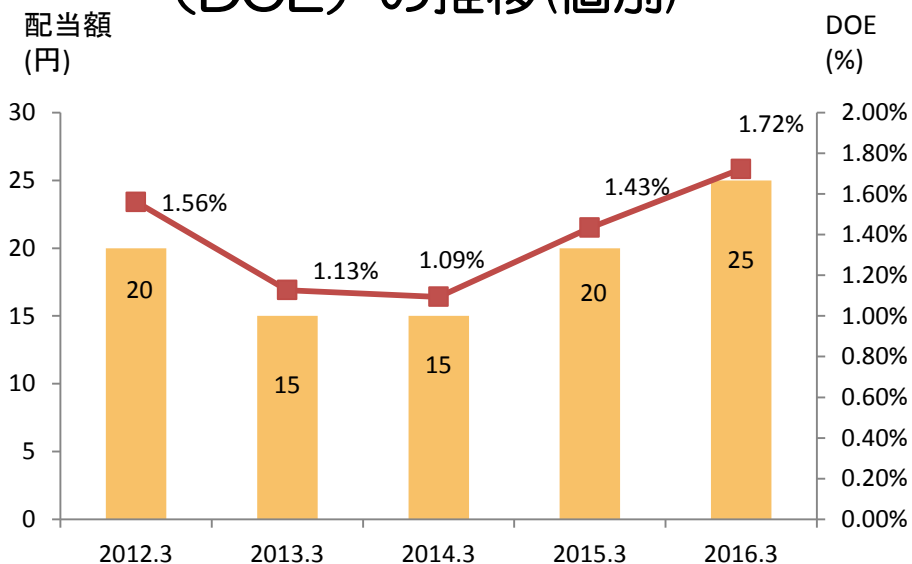
利益還元を経営の重点施策として位置づけ、経営基盤の強化ならびに、堅固な財務体質の構築を目指しております。  
 配当につきましては、長期的な視野に立ち、継続的な配当を基本方針として、純資産配当率をベースに、経営環境等を総合的に判断していきます。

## 当期配当予定

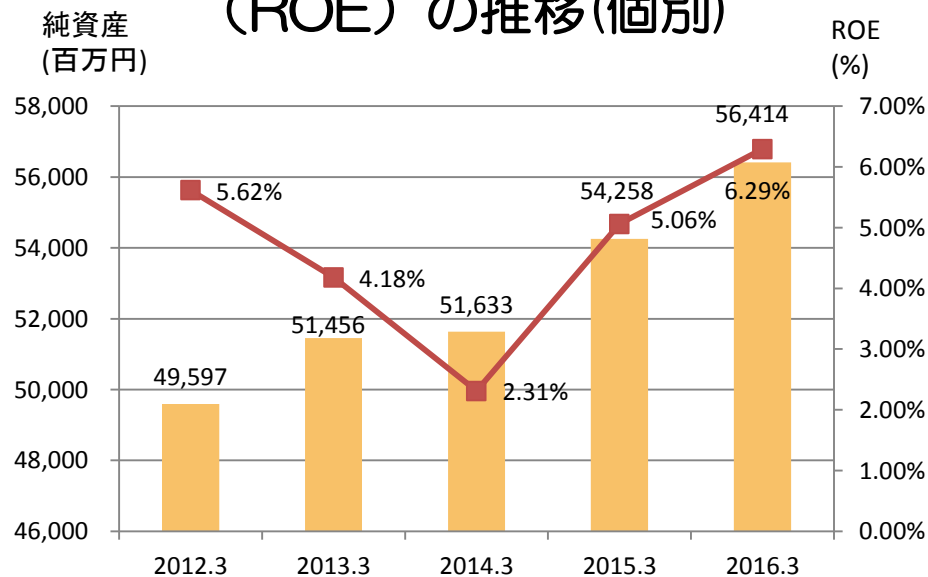
1株あたり、配当金25円(前期比5円増配)  
 配当総額 972百万円

配当方針に基づき、経営環境等を総合的に勘案した結果、当期は5円増配し、配当金25円とすることにいたしました。

## 配当および、純資産配当率(DOE)の推移(個別)



## 純資産額、自己資本利益率(ROE)の推移(個別)



## 免責事項

当資料に記述されている業績予想並びに将来予測は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため実際の業績は、様々な要因の変化により、記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。